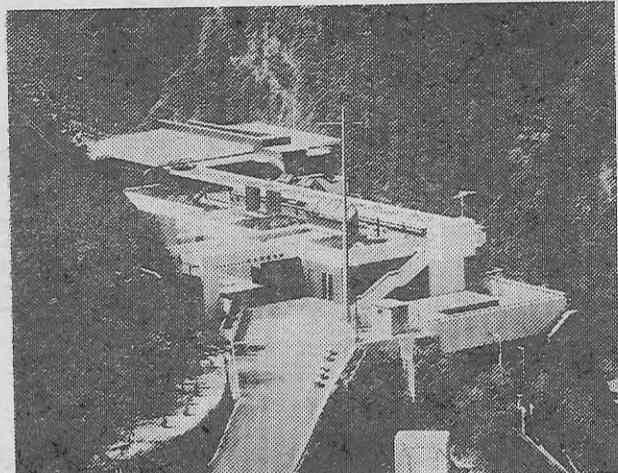
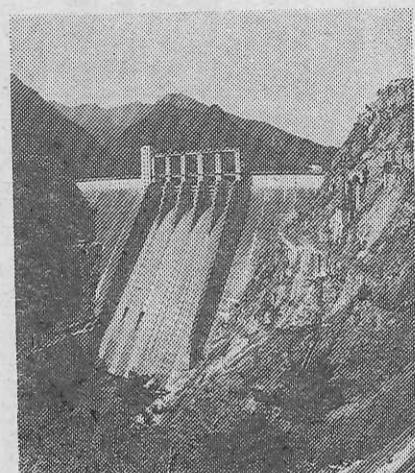


自然の中で学習とリクリエーション

新しい校外学習地 《佐久間電力館》



佐久間電力館全景



佐久間ダム

諏訪湖から南流し遠州灘まで、一五〇キロの天竜川。日本最大急流の一つにもかそえられている。その水量にめぐまれた天竜川水系に電源開発株式会社の一貫開発から生まれた卒業所群は「電力のふるさと」として親しまれ天竜峡の沿りの行楽とともに、今ではすつかりおなじみとなった。

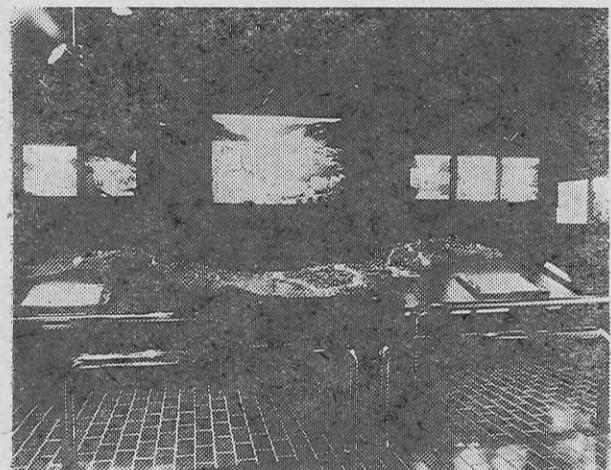
この発電所の中でも、わが国の電源開発の歴史の原点である佐久間ダムのわきに、佐久間電力館が昨年の九月にオープンした。そこで佐久間電力館とその周辺のルポを紹介しよう。

REFERENCES

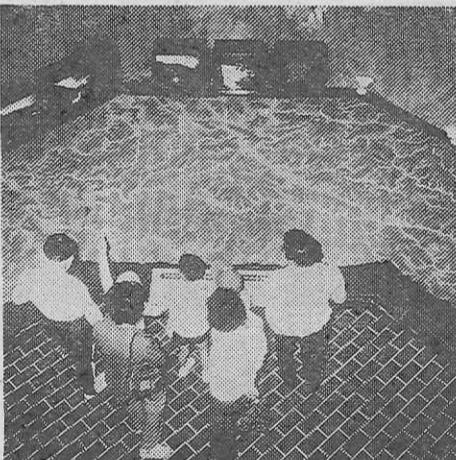
西漢書卷之三

手で確かめられる

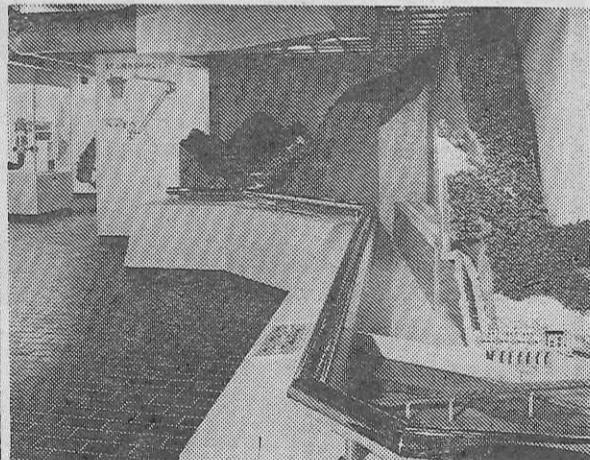
一電源基地



視聴覚でみせる全国電源網



西奈川水系の地形模型



佐々間開発電所の断面模型

This map illustrates the Kiso River basin in the Chubu-Sangaku region of Japan. Key features include:

- Dams and Power Stations:** Kurobe Dam, Nagara Dam, Tsuruta Dam, Kurobe First Power Station, Tsuruta First Power Station, Kurobe Second Power Station, and the佐久間電力館 (Sakurama Electric Power Building).
- Rivers and Waterfalls:** Kiso River, Nagara River, and various waterfalls like the 袋田の滝 (Taki-no-taki) and 飛瀧の滝 (Hiryu-no-taki).
- Highways:** The Tohoku Expressway (東名高速道路) and the 東海道新幹線 (Tokaido Shinkansen).
- Towns and Landmarks:** Toyama City, Matsumoto City, Nagano City, and the 菅原神社 (Kanbara Shrine).

大きい。実例を紹介すれば、奥只見ダム（三千六万五千）の建設によって、ダム周辺には奥只見電力館をはじめ、体育館、学習のための教室、グラウンド、また宿泊設備はちょっとしたホテルのような「緑の学園」などが設けられ、それらの施設は毎年五月から十一月まで開放されている。学年ぐるみで毎年利用している東京のある中学校は、この町にも、今ではなかなかこの町にも、今までにはまだ、静岡県の山深く入った水窪町は、天竜川支流の水窪川に水窪電源所が建設されたことによつて、水窪自然クラブセンターが開設され一般に公開されている。このセンターハンには、宿泊施設、し設置つきの研修室、体育館、プール、サイクリングコース、キャンプ場、町にはナイター設備の

わんじである。

供たちはもとより多くの人々が利用しているのである。

れなかつたこの町にも、今では、共益（株）本社（OII）三五二一六三五（代表）まで。

△詳細については

一九七七年の電力需要は、一億三百七十八万瓩といわれ、一九八五年には、一億七千一百九十六万瓩の需要予測が試みられる今日、電源開発株式会社のはたず役割は大きい。

また、ダムや発電所の建設がもたらす地域社会の発展にも大きな役割をもつとともに、青少年をほ



四四〇六
龍岡県磐田市佐久間町佐久間二二五二電話
〇五三五六五一一三五〇

マに刻まれ、まるで自分が岩肌と闘っているような錯覚に陥られる。コーナー1例には、電源開発会社が一直開発した天竜川水系の大規模な模型もある。

最後のコーナーは、一階にあります。ここでは、天竜杉を中心とする林地帯から、自然と人とのつながりをテーマとした、いわゆる郷土資料室をもつべきもので、山里のくらしを象徴する生活用具、食器や背板、木を伐採する道具、木馬などが集められています。

◆問い合わせは――

第三の「コーナー」は、わが国電力のシンボルである「佐久間ダム建設」の歩みが紹介されている。当時のあらゆる技術の粋を結集して形成させた佐久間ダムの歴史が、

東京のお泊りは
文教の地“本郷”で
経験で修学旅行のメッカ本郷へ
奉仕する